


SUPチームビルディング研修

～組織改革で生産性をアップする～

A photograph showing two individuals standing on their respective stand-up paddleboards (SUPs) on a calm river. The person on the left is on a red and yellow board, while the person on the right is on a blue board. Both are wearing life jackets and hats. The river is surrounded by dense green trees and foliage under a clear blue sky. The water reflects the surrounding environment.

2019/6/19 体験会概要

ウォ アクションスポーツ株式会社
SPIRIT FREE

研修の背景

働き方改革や人材不足により、多くの企業が生産性向上という課題に直面しています。

残業時間の削減により、モチベーションの低下やサービスの質が低下するケースもあります。職場環境改善のために新しい人材を採用しても、なかなか定着しないといった現状もあり、深刻な人手不足に頭を抱える企業も多いようです。

職場環境を悪化させず生産性を上げるには、どのような取り組みをすれば良いのでしょうか。

そこで、ご提案するのがSUPチームビルディング研修による社内コミュニケーションの改善です。

チームの雰囲気が良くなれば、自然にポジティブなコミュニケーションが取れるようになり、モチベーションや生産性の向上に繋がります。

アウトドアスポーツを取り入れたチームビルディングで、リフレッシュしながら理想のチーム作りをスタートしませんか。

SUP研修 の目的

1. 生産性の高いチームへと変化・成長するための共通認識ができる。
2. 実践的なコーチングのノウハウから、より良いコミュニケーションと関わり方を学ぶ。
3. 自分の関わり方のパターンや課題に気づき、改善のヒントが得られる。





SUP研修 の特徴

1. 自然豊かな環境で、いつもと違うコミュニケーションにチャレンジしやすい。
2. 日常業務への落とし込みを考慮し、シンプルで実践しやすい内容。
3. 頭で理解するのではなく、体感できるワークで腑に落ちるので、浸透しやすい。

現状の課題と理想（仮定）

労働生産性の向上

日常のコミュニケーションが少ない

リーダーシップを取る人がいない

社員の自主性が低い

理想の状況／状態

組織改革で生産性の高いチームへ

ポジティブなコミュニケーションの増加

適切なリーダーシップの発揮

積極的な発言と自発的行動の増加

効果的な
研修の
ポイント

- ディスカッションや意見のシェアを多く取り入れ、良く身につく。
- 分かりやすい説明と体感型ワークで納得感がある。
- 自然豊かな環境でリフレッシュも兼ねて、チームメンバーといつもと違う交流ができる。

体験会カリキュラム(日帰り)

順番	時間	概要
1	10:00-12:30 (2.5Hr)	全体研修
休憩	12:30-14:00	お昼休み・着替え・移動
2	14:00-15:30 (1.5Hr)	SUP研修
休憩	15:30-16:30	移動・着替え・シャワーなど
3	16:30-18:30 (2Hr)	全体研修

- 休憩適宜
- 移動時間は、研修場所により変更となる場合があります。

通常カリキュラム(1泊2日)

参考

日	順番	時間	概要
1日目	1	10:00-12:30	全体研修
	休憩	12:30-14:00	お昼休み・着替え・移動
	2	14:00-15:30	SUP研修
	休憩	15:30-16:30	移動・着替え・シャワーなど
	3	16:30-18:00	全体研修
	4	18:00-	夕食(懇親会)
2日目	5	8:00-10:00	全体研修
			解散

- 休憩適宜
- 実際のカリキュラムは、課題のヒアリングをし若干変更する可能性があります。

Team SUP レース

～代表的なワーク解説～

- 協力しないと直進するのも困難なTeam SUPでレースを行う。
- レースや作戦会議を通して、メンバーとのより良いコミュニケーションを実践的に学ぶ。
- スピードレースとゲーム性の高い障害物レースの2レースを行うことでチームビルディングを体感で学ぶ。



チームの 見える化

～代表的なワーク解説～

- チームの現状を椅子を使って見える化し、理想の状態を創造する。
(チームで参加の場合は、ビジョンを共有する。)
- 組織を見える化することで、課題や強みに気づく。
- チームビルディングに必要なアクションを頭ではなく、感覚的に理解できる。



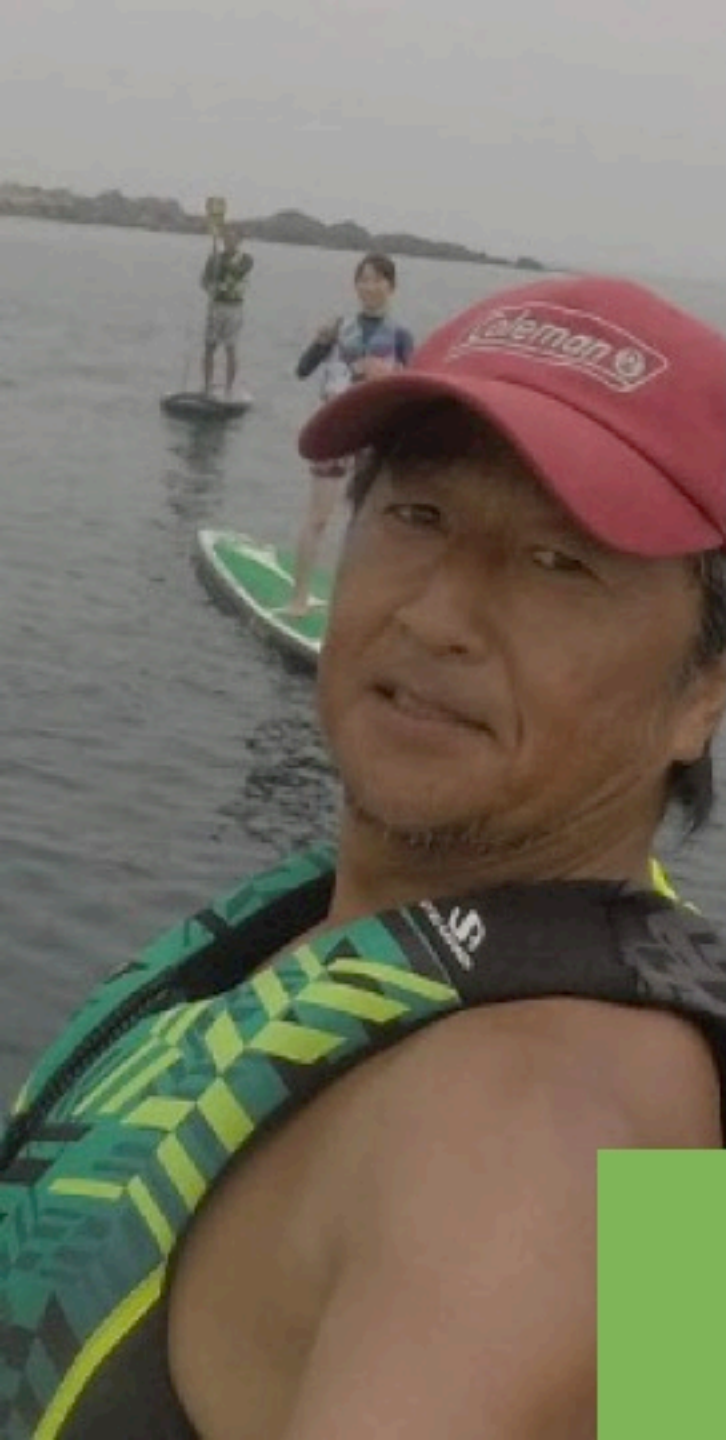
いすみ川

研修を行ういすみ川は、**千葉県最大の流域面積**をもつ二級河川です。

勝浦市上植野に源を発し、数多くの溪流をあわせ複雑に蛇行しながら北流した後、大多喜町を抜け、いすみ市岬町和泉で太平洋に注いでいます。

生息する生物の種類数は絶滅危惧種を含め72種類と非常に多く、**日本2位**を誇ります。

自然豊かな地域として環境庁により設置された「環境と文化のさとセンター」があります。



講師紹介 森 和仁

ウォアクションスポーツ株式会社 代表取締役社長
NPO法人ウォーターフィットネス協会 理事長

- 日本で初めてSUPの製造・販売・指導者育成に関わってきたSUP業界の第一人者
(2007年よりサーフテック ジャパンのGMとして)
- 日本トップクラス選手の指導育成を行い、世界で活躍するプロも輩出。
- 体育大学教授や医師、その他専門家と共にSUPの心体に及ぼす影響に関する研究を続けている。

2010 高知Ya-See カヤックマラソン SUP 優勝

2011 東日本震災復興SURF Meet SUP Wave 優勝

2012 カケロマ カヤックマラソン 20km 3位

2012 松崎 カヤックマラソン 10km 2位

2012 第一回SUPA全国大会 総合17位

P-fit SUP マスターインストラクター資格・普通救急救命士



講師紹介 小島佳織

SPIRIT FREE 代表

- 北海道大学大学院修了後、大手医療機器メーカーに就職。在職中はマーケティングと営業に携わり、女性初のトップセールス賞を受賞。
- プロダクトマネージャとしてチームをリードし、QCプロジェクトの社内コンペで世界チャンピオンとなる。
- 1000人以上にコーチングを行い、200以上のセミナーや研修でコミュニケーションや営業、リーダーシップを伝えてきた。

北海道大学大学院工学研究科 生体情報工学専修 修士課程修了
PHILIPS ジャパン 医療機器事業部に13年勤務（1997～2010）
2005年 QIC(Quality Improvement Competition) Project にて
世界チャンピオンとなる

資格：チームフロー認定コーチ、箱庭心理セラピスト

執筆：金融機関専門誌「近代セールス」にて連載

メルマガ「千葉県産業情報ヘッドライン」2019年4月～「ビジネスコーチング～部下の力を引き出して、成果をあげる方法～」を連載



SUP

チーム
ビルディング
研修

詳細につきましては、下記までお問い合わせください。
※ まずは、ご要望と現状についてヒアリングさせていただきます。

ウォ アクションスポーツ株式会社
〒299-4504 千葉県いすみ市岬町桑田1809-1
TEL: 0470-62-5073
FAX: 0470-87-6612
E-mail: kazz@wowsports.jp